

2003年度春季大会のご案内

これまで、日本気象学会の大会は平日3日間の日程で行われてきました。しかし、発表件数の増加に対応するため、今後は春季大会の会期を4日間とすることになりました。また、気象庁職員や気象予報士・学校の先生など平日に仕事を持っておられる方々の参加を促すため、2003年度春季大会は会期を5月21日(水)～24日(土)として土曜日を含むようにしました(場所はつくば国際会議場)。大会プログラムは2003年2月末ごろに決定しますが、今のところ下記の案が有力です。

- 21 (水) 午前：一般口頭発表
午後：専門分科会、ポスター発表
- 22 (木) 午前：一般口頭発表、ポスター発表
午後：総会・受賞記念講演等、懇親会
- 23 (金) 午前：一般口頭発表
午後：シンポジウム、ポスター発表
- 24 (土) 午前：一般口頭発表
午後：専門分科会

このうち24日(土)に開かれる専門分科会の中では、可能ならば天気予報や気象教育に関連の深いテーマを取り上げたいと考えています。

つきましては、これまで参加する機会の少なかった方々にも、大会の様子を見に来て頂ければ幸いです。もし評判がよければ、次年度以降もできる限り土曜日の開催をはかっていきたいと考えております。

なお大会4日制への変更や昨今の経費増に伴い、大会参加費はこれまでより1,000円増の4,000円(ただし会員による前納の場合は3,000円、学生会員については別額)となる予定です。承知おき願います。ただし24日(土)のみ自費で参加する方については2,000円(当日払い)とする予定です。

秋季大会については、当面は従来通り平日3日間の開催を続けることにしております。

2002年10月 講演企画委員会

気象研究ノート一般書店販売開始のお知らせとお願い

気象研究ノートは、この度、203号「ニューラルネットワークの数理と気象への応用(上)」を機に、一部一般書店での販売を試みるようになりました。その目的は、貴重な著作である研究ノートを学会内部だけでなく、より広く普及させることにあります。このことによって、執筆者も意欲が増し、執筆希望も増えることが期待され、また、学会の活動が社会に見えやすくなる効果も果たすと考えられます。この際、気分一新をはかるよう、カラーの表紙カバーを付けることにしました。但し、このカバーは、書店販売用と学会員配付用とで同一のものとしたため、学会員の方はカバー裏

表紙記述に若干違和感を覚えられるかもしれません。発売元、ISBN、定価(会員外価格と同じ)をカバーに記述します。従来のISSNは本体に記述します。複数の定価を表示する必要から、本体裏表紙は販売用と配布用を別途印刷します。この経緯をご理解の上、誤解なさらぬようお願い致します。

いずれにしろ、これを機会に、これまで以上に気象研究ノートに関心を持っていただき、会員内外への積極的なお勧めをお願いする次第です。

気象研究ノート編集委員会
委員長 山内 恭